

ハチに刺された！ その時、どう動く？（症状の見極め、緊急対応）

1. 応急手当

（現場でまずやること）



すみやかにその場を離れる

巣が近くにある可能性があるため、10～50m以上離れて安全を確保してください。



傷口を洗い、毒を絞り出す

きれいな水で毒液を洗い流し、手やポイズンリムーバーで絞り出します。
※針が残っている場合は取り除きます。



冷やして30分間は安静にする

ステロイド軟膏などを塗り、患部を冷やしながら、全身に症状が出ないか注意深く観察します。

2. 受診のタイミング

（救急車か、自宅待機か）

局所症状（自宅待機も可）



刺された場所が赤く腫れたり、痛んだりするだけなら、慌てて受診しなくても大丈夫です。冷やしたり ステロイド軟膏などを塗り様子を見ましょう。数日 かけて腫れが広がり痒みが強くなる場合もありますので、不安な場合は病院に相談してください。

全身症状（119番！救急要請）



刺されてから数分～1時間以内に、刺された場所以外で以下のような「全身症状」が出た場合は、迷わず119番してください。

10～15 分で心停止のリスク！



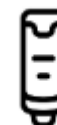
- 全身にじんましんが出る、ひどくかゆい
- のどが詰まる、ゼーゼーする、息が苦しい
- 激しい腹痛、吐き気、下痢
- 意識がもうろうとする、立ちくらみ、ぐったりする

3. アレルギーのリスクが高い方

（注射薬か、点鼻薬か）



ハチに刺されて過去に全身症状が出た方は、次に刺されると命に関わる**重いアレルギー反応（アナフィラキシー）**を起こす危険があります。



アドレナリン自己注射薬（エピペン®）

医師から処方された方は、症状が出たら直ちに太ももに強く押し当てて使用します。



【新しい選択肢】点鼻薬

緊急対応策として、従来の筋注に加え、新たに「点鼻薬（ネフィー®）」も選択肢に加わりました。